

(3) 地域の拠点性の観点から

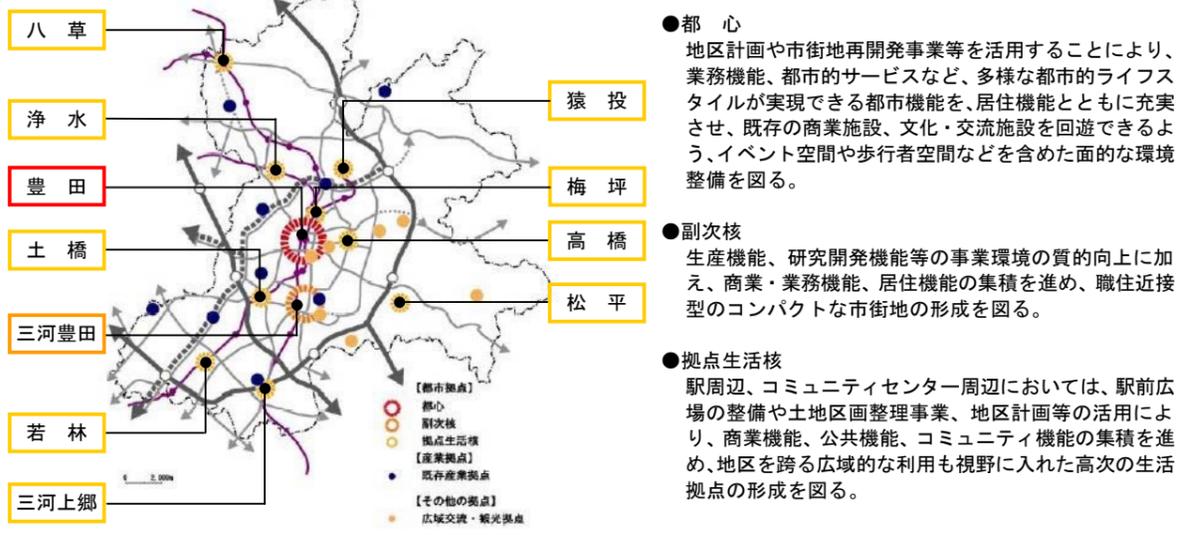
① 日常的な人の集積・施設利用の観点から

【地域拠点の候補とする要件】

- ・市民の日常的利用が多い施設(役所・病院・商業施設)の付近。
- ・各地域・地区の中心的交通施設(駅・バス停)。

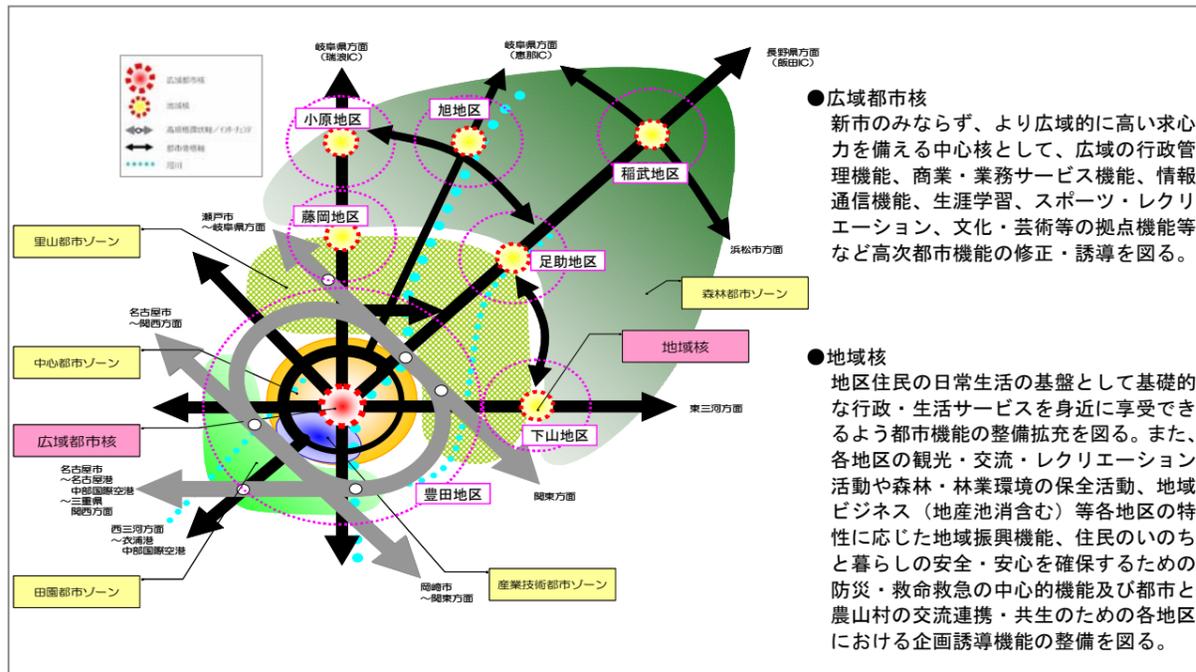
② 都市計画マスタープランにおける拠点的な場所

■拠点配置方針



※都市計画マスタープラン(都市マス): 広域的視点に立った都市づくり、アメニティ優先の都市づくりに加えて、多様で質の高い都市生活を送ることができるまちづくりを目標に平成17年に策定され、平成32年を整備目標としている。

③ 新市建設計画における拠点的な場所



④ 地域拠点の抽出

【地域拠点の候補とする要件からの設定】

- 鉄道駅のある地域: 地域の中心となる鉄道駅
- 鉄道駅のない地域: 各支所付近などの地域の中心となるバス停

【都市マスにおける拠点的な場所】

- 都心: 「豊田市駅・新豊田駅」周辺
- 副次核: 「三河豊田駅・トヨタ本社」周辺
- 拠点生活核: 「八草・浄水・猿投・梅坪・土橋・三河上郷・若林駅」周辺
「松平・高橋コミュニティセンター」周辺

【新市建設計画における拠点的な場所】

- 広域都市核: 「豊田市駅周辺の豊田都心地区から三河豊田駅・トヨタ町周辺」地区
- 地域核: 「旧町村役場(支所)所在地」周辺

【地域拠点交通結節点の候補地(豊田市内17箇所)】

- 旧豊田市内は、都市マスに示す9箇所の鉄道駅と2箇所のコミュニティセンター付近を中心とする地点を抽出。
- 旧町村地域は、各支所付近を中心とした地点(6箇所)を抽出

■地域の拠点として整備する交通結節点

